



<p>いねい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な身の回りのことをすすんでする。 ・保育士や友だちと言葉のやり取りをしながらいろいろな遊びを楽しむ。 ・冬の寒さや自然に触れたり、友だちと一緒に簡単な集団遊びを楽しむ。 ・友だちと共通のイメージをもってあそび楽しさを味わう。 	<p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 2日 節分の集い 5日 英語 13日～16日 個人面談 15日 避難訓練 15日 身体測定 20日 お店屋さんごっこ 22日 誕生日会 	<p>家庭連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調を崩しやすい時期なので、体調について連絡ノートや口頭でこまめに連絡を取り合う。 	<p>自己評価</p>	
<p>今月の内容(養護・教育等)</p>		<p>環境構成</p>		<p>配慮事項</p>	<p>取り組みの状況と保育士の振り返り</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防に努め、健康に過ごせるようにする。 ・手洗いうがいをを行い、感染症にかからないように健康に過ごせるようにする。 ・尿意、便意を感じて自分からトイレに行き排泄しようとする。 ・鼻水が出たら自分で気付いてティッシュを使って拭く。 ・上手にスプーンを使うことができている子から少しずつお箸の練習をする。 ・正しい姿勢で食事をする。 ・友達と楽しく落ち着いて食事ができるようにする。 ・経験したことや自分の気持ちを言葉で伝えたり、友だちや保育士と言葉のやり取りを楽しむ。 ・自由遊びの時などやりたい時にお絵描きや粘土をする。 ・「むっくりくまさん」や「がらがらどんとトル」など簡単なルールのある遊びを友だちや保育士と一緒に楽しむ。 ・戸外活動、散歩を通して霧柱や氷、吐く息の白さなど冬の自然現象に触れて興味を持ち季節を感じる。 ・ごっこ遊びの中で日常生活に必要な言葉を使って楽しむ。 ・季節に合った絵本や紙芝居を読んでもらい、お話の世界を楽しむ。 ・手遊びや季節の歌に興味を持ち、保育士や友だちと一緒に歌って楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・室温、湿度を適切に保つ。適度に換気をする。 ・うがいができるようにコップは手の取りやすいところに置いておく。 ・おもらし用雑巾を用意する。 ・子どもの手の届く位置にティッシュを用意する。 ・お箸専用のテーブルを作る。テーブルを分ける。 ・席の順番を工夫する。 ・子ども同士、遊びのイメージを共有して楽しんでいる時は側で見守る ・遊びに使うものを十分な数、準備しておく。 ・ルールは分かりやすく伝える。 ・お散歩リュックの準備をしっかりとしておく。 ・気温が低くなりそうなときは入れ物に水を張って氷が出来る様に準備する。 ・季節に合った絵本を用意する ・子どもたちが絵本を選ぶことができるように用意する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・変わったことはないか観察をして、必要に応じて検温をする。 ・子どもたちと一緒に保育士もうがい手洗いをし、出来ているか見守る。 ・ひとりひとりの間隔を把握するようにする。 ・ティッシュの適度な量を伝える。 ・安全に使うことができるように見守り、正しい持ち方ができるように伝えていく。 ・いただきますの挨拶をする前に姿勢の確認をする。 ・子どもたちの話を丁寧に聞き、仲立ち会話が楽しめるようにする。 ・安全に製作できるように机を分けて、保育士が近くにつくようにする。 ・集団遊びが苦手な子でも楽しく参加できるように声を掛ける。 ・安全に散歩ができるように声を掛け、一緒に冬を探す。 ・本の読み聞かせや集まりの時に場所の取り合い等でトラブルになることがあるので、落ち着いて聞けるように導入を工夫したり保育士の声のトーンを落としてゆったりした雰囲気を作るようにする。 	
<p>時間外保育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の友だちとかかわりながら好きな遊びを楽しむ、安心して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋を移動する際は、必ず排泄を済ませるように声掛けをする。 ・バスの子の準備をもれなくしておく。 ・降園前にトイレに誘うようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりと過ごせるように静かで落ち着いた雰囲気を心がける。 ・1歳児との関わりが増えてきているのでトラブルがないように見守る。 ・伝達漏れのないように引継ぎをしっかりとる。 	